

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
施設野菜專業經營 IV	人  2	アスパラガス		1. UVカットフィルム・防虫ネット・フェロモントラップなど耕種的防除対策により、環境保全型農業に努める 2. 共同選果施設利用	
		a 50			
		耕地面積	水田 畑	50 a	
経営目標		1 農業総収入	17,486 千円	4 1日当たり農業所得	10,549 円
		2 農業経営費	12,383 千円	5 1人当たり年間労働時間	1,935 時間
		3 農業所得	5,103 千円		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
建物・施設	ビニールハウス(新設) (ハウス本体、二重カーテン、妻換気・側換気(手動)、灌水パイプ込み)	2	AP単棟ハウス 5000㎡	1	千円 29,687	8	千円 1,855
	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60㎡	1	2,851	24	119
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20㎡	1	950	24	40
	計				33,488		2,014
農機具	管理機	1	6.2PS	1	200	7	14
	トラック	1	軽トラック	1	917	4	115
	自走式動力噴霧機	1	自走式ラジコン動噴	1	741	7	53
	黄色灯	1	黄色灯	1	440	7	31
	計				2,298		213

3. 技術体系(アスパラガス・1年目)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(1年目) 耕うん 整地	耕起整地	9月～10月	トラクター	2	2	4	堆肥 10t 石灰質資材 リン酸質資材	深耕・排水対策が重要。 有機質・土壌改良資材の 施用。 pH5.8～6.7に矯正す る。
施肥	基肥施用 追肥施用 (翌年)	9月～10月 (翌年) 3月～8月	トラック トラクタ 管理機	2 1	2 6	4 6	10a当たり成分 N 32kg P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> 33kg K <sub>2</sub> O 27kg	Nの分施割合 基肥50% 追肥50% 追肥は月2回
保温施設 組立て	ビニール 張り	9月～10月	トラック	4	9	36	ビニール一式	
定植準備		10月～11月	トラック 管理機	2	3	6	かん水チューブ 700m	
定植		10月～11月	トラック	2	10	20	セル苗	栽植密度:畦幅1.5m×株 間25cm 10a当たり 2,700株 (春植えの場合は4月定 植)
かん水	配管 かん水	11月上～ 2月	かん水施設	2 1	3 50	6 50	かん水資材	適宜かん水し、うねの表 面が乾かないようにす る。 (目安)収穫開始まで 5～10mm/7～10日 収穫期間中 5～10mm/2～3日
(翌年) 土寄せ 培土		4月下	トラック 管理機	2	4	8		覆土の厚さ 10～15cm
立茎	立茎 摘心	4月下～		2	12	24		茎径7～8mmの茎が萌芽 したら、株当たり5～6本 残し弱茎、細径等は切除 し、以降萌芽したものは 収穫する。
整枝誘引	支柱立て ネット張り 誘引、整枝	5月上～ 6月中	トラック	2 2	4 12	8 24		誘引は早めに行い、2段 誘引とする。 主枝の摘心位置1.4m、下 枝除去50cm
温度管理	保温、換気 下温対策	11月～3月 7月～9月		2 2	33 2	66 4	遮光資材、 寒冷紗	春どり:保温・すきま風対 策 夏どり:昼間の換気の徹 底
病虫害防除	薬剤散布 耕種的防除	3月～11月	動力噴霧機	2	11	22		県病虫害防除基準によ る適正防除。
収穫出荷 (夏どり)		5月下～ 10月	トラック	2	74	148		萌芽茎が27～28cmに なった時、地際から全部 収穫する。高温期は早 朝、夕方の2回行う。
計						436		

## 3. 技術体系(アスパラガス・2年目以降)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
施肥 (多年生)	冬肥施用	12月下～1月上	トラック管理機	2	4	8	10a当たり成分 N 44kg P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> 38kg K <sub>2</sub> O 20kg	Nの分施割合 冬肥20% 春肥・追肥80% 冬肥:保温開始前施用 春肥:緩効性肥料施用 追肥は8月～収穫終了まで月2回施用する(6回) N成分 2.4kg/1回 堆肥は通路施用
	春肥施用	4月		2	4	8		
	追肥施用	8月～10月		2	6	12		
収穫前準備	堆肥被覆	4月		2	4	8	堆肥、パーク堆肥等	土壌水分を安定させるため、うね上に堆肥、パーク堆肥等を被覆する。 覆土の厚さ 10～15cm
	土寄せ、培土	1月		2	3	6		
		4月	トラック管理機	2	4	8		
	配管	1月		2	3	6		
トンネル被覆	1月下～2月上		2	6	12			
かん水		1月～12月	かん水施設	1	62	62	かん水資材	適宜かん水し、うねの表面が乾かないようにする。(目安)10mm/10日とするが、夏場は4mm程度/2日、収穫終了後も乾燥させないように適宜かん水する。
立茎	立茎摘心	4月～9月	トラック	2	17	34		萌芽した茎を徐々に更新して茎径10～12mmの勢いの良い茎を10～12本/m程度立茎する。1芽1本の立茎を原則とする。以降、障害茎のみ更新する。
整枝誘引	支柱立て、ネット張り	5月上～6月中	トラック	2	8	16	支柱ネット	誘引は早めに行い、2段誘引とする。 主枝の摘心位置(高さ) 大型ハウス 1.4m 小型ハウス 1.2m 2次分枝は7月まで除去する。 下枝除去の高さ:50～70cm。摘芯作業は晴天日に実施する。
	誘引、整枝			2	18	36		
温度管理	保温、換気	1月～12月		1	58	58	遮光資材、寒冷紗	萌芽まで換気しない。萌芽後は25℃以上で換気。すきま風対策と昼間の換気の徹底。 妻面、側面換気と併せて行う。
	下温対策	7月～9月		2	2	4		
病虫害防除	薬剤散布 耕種の防除	4月～11月	動力噴霧機	2	14	28		県病虫害防除基準による適正防除。
収穫出荷	春どり	2月上～5月	トラック	2	97	194		春どり収穫打切りの目安 1年生株:3月下旬(40日) 多年生株:4月下旬(60日) 茎径10～12mmの茎が、10～12本/mになったら夏どり行う。高温期は早朝、夕方の2回行う。
	夏どり	6月～10月下	トラック	2	157	314		
全刈り		12月下	トラック	2	8	16		茎葉が黄化した頃、地際部より刈取り焼却する。
計						830		

4. 品目の作付体系(○播種、△定植、□ハウス被覆、□収穫、×全刈り)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
アスパラガス (1年目)								○		□ △		
(多年生)												×

5. 作業別・月別労働時間(10a当たり時間)

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
定植準備																								44	
定植																								20	
収穫前準備																								0	
かん水	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	6	2	56	
栽培管理																								76	
病害虫防除																								22	
温度管理	4	4	4	5	5	5	5																	70	
収穫出荷	5	4	5	6	5	6	7	2	1	18	13	11	15	15	12	15	22	17	25	26	23	26	14	148	
月計	14		17		20		21		39		42		64		75		58		42		30		436		

2.)アスパラガス(多年生)

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
肥培管理	8																							28	
収穫前作業	12																							40	
かん水																								62	
栽培管理																								86	
病害虫防除																								28	
温度管理																								62	
収穫出荷																								508	
全刈り																								16	
計	20	0	0	14	5	15	27	37	39	42	39	38	38	19	30	29	34	36	37	41	41	40	38	33	
月計	20		34		103		119		87		99		119		111		81		37		2		18		

6. 施設野菜専業経営IV 総労働時間

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
総労働時間	100	0	0	70	25	75	135	185	195	210	195	190	190	95	150	145	170	180	185	205	205	190	165	155	
うち家族労働	100	0	0	70	25	75	135	165	165	170	170	170	170	95	150	145	170	180	165	175	175	170	170	165	
うち雇用労働																									
計	20		34		103		119		87		99		119		111		81		37		2		18		